

4 グラウンドゴルフ競技要項

(1) 競 技 規 則

日本グラウンドゴルフ協会の定めるルールに則る。以下重要な事項について抜粋。

- ① ボールを決められた位置から決められた打順で、ホールポストに向かって打つ。
2打目以降も、同ホール内は決められた打順のまま進める。
次のホールからは、打順を一つずつ繰り上げて進める。
- ② 先に打った競技者のボールがプレーの妨げになる時は、一時的に取り除くことを要求することができる。この時はボールの位置をマークして取り除く。
- ③ 他の競技者のボールに当たった時は、打者のボールは静止地点とし、当てられたボールは元の位置に戻す。風によってボールが動いた時は、静止地点から競技する。
- ④ 打球が、ホール内（旗の枠内）に静止した状態を「とまり」といい、そのホールはそれで「あがり」となる。
- ⑤ 各組の担当者が審判を務め、競技中の判定を行う。また、審判に対する異議申し立ては受け付けられないものとする。
- ⑥ ホールインワンの場合、そのホールは1打とし、スコア表には「①」と記入し、最後の合計打数から3打引く。
- ⑦ 空振りは打数に数えない。
- ⑧ 打数は自己申告とする。

(2) 使 用 用 具

クラブ、合成樹脂ボール（直径6センチ）を使用する。※持込可

(3) 競 技 方 法

1組6名で、16ホール（8ホール×2回）を回り、合計打数で順位を決定する。

(4) 順 位 決 定 方 法

- ① スコアの合計が小なる者（チーム）
- ② 同スコアの場合は、満年齢（の合計）が大なる者（チーム）
- ③ 同年齢の場合は、実スコア（ホールインワンによるマイナスを除いたスコア）が小なる者（チーム）
- ④ 同数の場合は、ジャンケンにて決定する

(5) 表 彰

- ① 団体の部においては、上位3チームに賞状及びメダルを授与する。
- ② 個人の部においては、上位3名に賞状及びメダルを授与する。
また、飛び賞、ホールインワン賞を設ける。

(6) 運 営 方 法

① 競 技 説 明

ささりンピック開会式終了後、多目的グラウンドパーゴラ前のグラウンド内に選手を集合せ、競技方法及びルールを説明

【競技の流れ】

- 各組1名スタッフが同行し、8ホール一緒に回る。
- スタート準備は、各組が各スタートホールに着き、準備完了であるかどうかを本部からマイクで確認する。準備完了合図は、参加者にスティックを上げてもらい、競技開始可能であるかどうかを本部が確認する。
- スコアを付ける。打数については参加者の自己申告だが、子どもについては注視すること。

【ル ー ル】

参加者へは、申込の際に競技要項を配布しているため、確認のため説明。

② 進 行

I 競技進行は以下のとおり（スタート表を掲示）

- i グループA・B（待機グループ：C）
- ii グループA・C（待機グループ：B）
- iii グループB・C（待機グループ：A）

II スポーツ協会グラウンドゴルフ担当者は、各組のスコア付け。

「あがり」までの打数を記入。

III 練習時間を10分程設ける。その後、本部からの号令のもと競技開始。

③ スコア表提出

各組8ホール終了後、記載ミス等がないか確認し、本部へ提出する。
各組がスコア表を提出しているか本部が確認を行う。

④ 集 計

集計を行い、集計中に記載ミス等があれば再度確認を行う。

⑤ 表 彰 式

全ての組の競技が終了後、最初の集合場所に集まり、表彰式及び閉会式を行う。
川野会長から成績発表並びに表彰を行っていただく。